

2021年1月1日～2024年12月31日の間に 川崎医科大学附属病院または川崎総合医療センター緩和ケア病棟 で、がんによりお亡くなりになった患者様のご家族の方へ

—「緩和ケア病棟を無償化したと仮定した場合の医療費に与える影響の調査」へのご協力
のお願い—

本研究の内容は、研究に参加される方の権利を守るため、研究を実施することの適否について川崎医科大学・同附属病院倫理委員会にて審査され、既に審議を受け、承認を得ています。また、学長と病院長の許可を得ています。

研究責任者 川崎医科大学先端腫瘍医学 講師 西江宏行
研究分担者 川崎医科大学先端腫瘍医学 講師 岡脇誠
川崎医科大学先端腫瘍医学 教授 永坂岳司
川崎医科大学総合内科学4 准教授 山根弘路

1. 研究の概要

緩和ケア病棟の無償化（自己負担を無料にする）したと仮定した場合に、終末期医療における医療費および医療資源の使用に与える影響を明らかにします。同時に、緩和ケアチームの関与が医療費に与える影響についても調査します。ひいては、限られた社会保障財源の中で、質の高い終末期医療を持続可能な形で提供するための政策的な根拠を提示することを目的としています。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

2021年1月1日～2024年12月31日の間に川崎医科大学附属病院または川崎総合医療センター緩和ケア病棟で、がんによりお亡くなりになった患者様のうち全体で75名の方を研究対象とします。

2) 研究期間

倫理委員会承認日～2026年9月30日

3) 研究方法

川崎医科大学附属病院または川崎総合医療センター緩和ケア病棟でお亡くなりになった方のうち以下の条件を満たす方のカルテを調査します。

- ・死亡日が2022年1月～2024年12月の期間に含まれること
- ・死因ががん（悪性腫瘍、ICD-10：C00～C97）であること
- ・医療データがレセプト・DPC等で確認可能であること
- ・入院先が緩和ケア病棟または急性期一般病棟のいずれかであり、緩和ケアチームの介入のあった症例と、緩和ケアチームの介入がなかった症例 とする。

除外基準は、がん以外の疾患による死亡（例：感染症、心不全、事故など）、医療データの欠損が著し

い場合、入院期間が極端に短い（例：1日未満）場合、小児（18歳未満）。

4) 使用する情報の種類

調査項目は次の通りです

年齢、性別、病名、死亡日、入院日、医療費、自己負担額、ICU 滞在日数、抗がん剤投与有無、中心静脈有無、経管栄養有無、胃瘻有無、血液検査回数、画像検査回数、緩和ケアチーム介入有無

5) 情報の保存及び二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または論文等の発表から5年間、川崎医科大学先端腫瘍医学研究室内で保存させていただきます。電子情報の場合はパスワード等で制御されたコンピューターに保存し、その他の試料・情報は施錠可能な保管庫に保存します。なお、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

6) 研究計画書および個人情報の開示

患者様のご家族のご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧または入手することができますので、お申し出ください。

この研究は氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できるデータをわからない形にして、学会や論文で発表しますので、ご了解ください。

この研究にご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。また、患者様のご家族が情報が研究に使用されることについて、あなたもしくは代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2025年10月31日までの間に、下記の連絡先までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者さんに不利益が生じることはありません。

<問い合わせ・連絡先>

川崎医科大学附属病院 臨床腫瘍科

氏名：西江宏行

電話：086-462-1111 内線 26508（平日：9時00分～16時00分）

ファックス：086-464-1134

E-mail：nishiehiroyuki@med.kawasaki-m.ac.jp

3. 資金と利益相反

この研究は、学内研究費を用いて行われる予定です

研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが生じかねない状態を利益相反状態といいます。

本研究に関する利益相反の有無および内容について、川崎医科大学利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。